

令和6年度 IoPプロジェクト国際シンポジウム

「農業用データ連携基盤の普及と農家の効果的なデータ活用方法について」

日時: 令和7年2月9日(日)13:00～16:30

場所: 高知大学朝倉キャンパス共通教育棟2号館番212教室(高知市曙町二丁目5-1)

参加無料(ハイブリッド開催) 定員/200名・オンライン500名

主催 国立大学法人高知大学、高知県

共催 高知県公立大学法人 高知県立大学・高知工科大学

後援 高知県農業協同組合、高知県農業協同組合中央会

令和6年度
loPプロジェクト
国際シンポジウム

農業用データ連携基盤の普及と農家の効果的なデータ活用方法について

2025
2/9 SUN
13:00~16:30

参加無料 (ハイブリッド開催※) 定員/対面 200名・オンライン 500名

※対面とオンライン、どちらかでご参加いただけます。オンラインは Zoom ウェビナーを使ってご観覧いただけます。英文も同時通訳があるので問題ありません。

会場:高知大学 朝倉キャンパス
共通教育棟2号館212番教室
高知市曙町二丁目5番1号

■主催/高知県、国立大学法人 高知大学
■共催/高知県公立大学法人 高知県立大学、高知県立大学法人 高知工科大学
■後援/高知県農業協同組合、高知県農業協同組合中央会

本シンポジウムでは、データ活用による環境制御技術を使用した大規模集約型農業の先進国であるオランダのトップ研究者を講師としてお迎えし、講演いただくとともに、日本の代表的な農業用データ連携基盤である「WAGRI」や、高知県独自の loP クラウド「SAWACHI」を紹介し、また、次世代型施設型農業の先進地である高知県においてデータ駆動型農業を実践する農家やデータを活用した営農指導を行う農業改良普及員から取組事例をご紹介いただき、データ活用のためのアクセシビリティやサイバーセキュリティについて理解を深めることで、データ駆動型農業の最新の状況と課題を議論します。

令和6年度 loPプロジェクト国際シンポジウム(プログラム)

農業用データ連携基盤の普及と農家の効果的なデータ活用方法について

開場・受付開始/12:00~

13:00~ 開会挨拶
高知県 知事 濱田 省司
高知大学 学長 受田 浩之

13:15~ 基調講演 ①
Technology adoption in Agriculture:
How to encourage data-driven work and Pitfalls to avoid
農業における技術導入:
データ駆動型の農業を促進する方法と回避すべき落とし穴
ワーヘニンゲン大学 温室自動化・ロボットグループ 光学科学者/研究員 Joseph Peller

13:45~ 基調講演 ②
Data sharing under the EU Data Act:
principles, actors, and translation into farming practice
EUデータ法のもとでのデータ共有:
指針、関係者、および農業実践への翻訳
ワーヘニンゲン大学 経済研究所 アントレプレナシップ・ビジネスイノベーション 上席研究員 Jos Verstegen

14:25~ 講演 ①
農業データ使いの次世代の専門家・篤農家を育てるためにできること
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農業情報研究センター センター長 村上 則幸

14:45~ 講演 ②
IoPクラウド(SAWACHI)の強みと課題と可能性
(データ駆動型農業をみんなのものに!)
高知県農業振興部 loP推進監 岡林 俊宏

15:20~ パネルディスカッション
農業データ活用基盤システムの活用とデータ駆動型農業の課題
●ファシリテーター
東京大学大学院情報学環・学際情報学府 教授 越塚 登
●パネリスト
国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 センター長 村上 則幸
農業情報研究センター センター長 高知県農業振興部 loP推進監 岡林 俊宏
高知県農業技術センター 農業情報研究室 主任研究員 五藤 雄大
IoP農業研究会副会長・きゅうり生産農家 越智 史雄
高知大学IoP共創センター 教授 岩尾 忠重
●コメンテーター
ワーヘニンゲン大学 経済研究所 アントレプレナシップ・ビジネスイノベーション 上席研究員 Jos Verstegen
ワーヘニンゲン大学 温室自動化・ロボットグループ 光学科学者/研究員 Joseph Peller

16:25~ 閉会挨拶
事業責任者 パシフィックソフトウェア開発株式会社 代表取締役社長 中城 一明

申し込み方法ははこちら
(定員)対面200名・オンライン500名

視聴方法について

●パソコンの場合
※Zoomで視聴を希望される場合はPCにてZoomのインストールを起動いたします。
「招待URL」をクリック後案内に従いZoomのインストールをお願いいたします。
※ブラウザでの視聴について
Zoomをインストールしなくてもブラウザからご参加いただけます。(Chrome・Firefox等)

●タブレットやスマートフォンの場合
Zoomのアプリのダウンロードが必要です。アプリをダウンロードの上、URLをクリックしてください。

○同時通訳
Zoomメニュー(⚙️)通訳)より
言語選択をして視聴ください。

お問い合せ先
高知大学 研究国際部 loPイノベーション推進課
TEL 088-864-5173 E-mail: kp03@kochi-u.ac.jp



16:15～ パネルディスカッション

「持続可能な施設園芸に向けたIoPの挑戦」

●ファシリテーター

京都大学大学院 地球環境学 地球益学部
水環境保全論分野 教授…………… 藤原 拓

●パネリスト

早稲田大学 先進理工学研究所 教授・研究戦略センター長…………… 関根 泰
総合地球環境学研究所 教授…………… 林 健太郎
京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻 教授…………… 高岡 昌輝
高知県農業振興部 IoP推進監…………… 岡林 俊宏

16:50～ 総評

Senior researcher, Entrepreneurship and Business Innovation
Wageningen Economic Research…………… Jos Verstegen



持続可能な施設園芸に向けたIoPの挑戦

令和5年度
IoPプロジェクト
国際シンポジウム

本シンポジウムでは、カーボンニュートラル、窒素循環、サーキュラーエコノミー分野の最新動向について、国内外のトップ研究者を講師として迎え、講演いただくとともに、高知県の環境保全型農業の取組も共有しながら、持続可能な施設園芸について議論します。

参加無料（ハイブリッド開催[※]） 定員／対面 200名・オンライン 500名

※対面とオンライン、どちらかでご参加いただけます。オンラインは Zoom ウェビナーを使ってご視聴いただけます。英文も同時通訳があるので問題ありません。

2024
1/28 SUN
13:00～17:05

会場：高知大学 朝倉キャンパス

令和5年度開催：国内外から166名が参加

13:15～

基調講演

Project manager NPEC and sr. scientist
business developer Phenomics & Automation
Netherlands Plant Eco-phenotyping Centre (NPEC)
Wageningen University & Research

Rick van de Zedde



13:45～ 特別講演①

「物質閉鎖系である地球におけるカーボンニュートラルと我が国の戦略」

早稲田大学 先進理工学研究所 教授・研究戦略センター長

関根 泰



14:15～ 特別講演②

「持続可能な窒素利用に向けた国内外の取り組み」

総合地球環境学研究所 教授

林 健太郎



14:55～ 特別講演③

「サーキュラーエコノミーに関する世界の動向と農業分野の重要性」

京都大学大学院 工学研究科 都市環境工学専攻 教授

高岡 昌輝



15:25～ 講演①

「高知県における環境保全型農業のこれまでとこれから」

高知県農業振興部 IoP推進監

岡林 俊宏



15:45～ 講演②

「IoPプロジェクト展開枠におけるGX研究」

京都大学大学院 地球環境学 地球益学部
水環境保全論分野 教授

藤原 拓

